

題材名 ニュース番組作りの現場から 「工夫して発信しよう」

目 標

- 取材したことをもとに、伝えたいことをどのように伝えるかをグループで協力して考える。
- 集めた材料を目的にあわせて整理し、加工し、形にして発信する。

コンピュータを利用する利点

コンピュータで新聞作りをすることにより、活用能力や構成力、さらには編集力を培うことができる。また、写真をいれたり、文字を着色したりすることにより、楽しく、かつ進んで学習に取り組むことができる。

授業の流れ

「ニュース番組作りの現場から」を学習し、番組作りの努力や願いを知る。

大野城新聞作りのための、紙面の構成や読み手を引きつける工夫を考える。

大野城新聞作りを通して、伝えたい事柄を決め、取材計画を練る。

コミュニティーティーチャーの方のご指導を受けながら、大野城址に登り、取材する。

学んだことをまとめたり、感想を書いたりする。

コンピュータを利用し、大野城新聞作りをする。

情報発信のため、印刷し、校内に掲示する。

I C T活用場面



取材結果をもとに、コンピュータで文章を作成したり、写真を取り込んだりする。



校内掲示板に掲示した「大野城新聞」

成果と課題

ふるさと学習の一環として、総合的な学習の時間と関連させながら行うことにより、地域に対する郷土愛を育てることができた。

自分たちの新聞作りという、させられた学習でなく、自分からする学習となり、意欲的に行うことができた。

時間の制約があり、紙面構成の時間が十分とれなかったのが課題である。

I C T活用環境等

使用周辺機器	コンピュータ・プリンタ
使用ソフト名	ジャストスマイル
使用教室	P C教室